



シニアケアセンター

広報



NO.22

2022年11月 発行

「法人理念」
安らぎのある生活
その人がその人らしく
地域と共に

今年も、美味しい“干し柿”作ろう!



十月二十七日、新館本館それぞれで干し柿作りで、楽しいひと時を過ごされました。皆さん、慣れた手つきで皮むきをしながら「いつ、食べられるようになるのかなあ」と、今から出来上がりを楽しみにされています。作業が終わると「あー楽しかった」と、深まりゆく秋を満喫していました。



- P1・・・干し柿作り
- P2・・・秋まつり
- P3・・・「ふくしなんでも相談窓口」設置、家族会アンケート結果
- P4・・・長寿祝賀会、車イス体験学習

祭 季節を感じ 日常の中に楽しみを

笑 顔 声

楽しみや、外出の機会が少ない中、少しでも季節を感じて頂きながら楽しい時間を過ごして頂こうと、新館は八月十八日、本館は十九日、花火大会で夏を感じて頂きました。月が替わり九月二十八日、秋祭りと銘打って様々なゲームコーナーを設け、皆さんに楽しいひと時を過ごして頂きました。日頃は見られない表情や体の動きに、本当に楽しんで頂いていることが伝わってきました。当日の様子を写真で紹介します。なお、この企画には、松江市社会福祉協議会のご支援を頂きました。紙面を借りて、厚くお礼申し上げます。



夕涼みを兼ねて、花火を通して夏を楽しみました



届けて上がりません



これこれ、このお楽しみが大好き



うまく釣れて両面のお楽しみ



集中、集中！狙ったお楽しみは必ず釣ります



狙っていた通りの風船が釣れて、みんな拍手喝采



一人では抱えませんが、みんな手伝って

老人福祉や制度に捉われず

地域のニーズに対応

まつえワンラブ
ふくしななんでも相談窓口
松江市社会福祉法人連絡会



特別養護老人ホーム津田の里
電話 0852-28-1950

ふくしななんでも相談所
ホットライン 0852-22-7830

松南第1包括支援センター
電話 0852-60-0783

アイアイ薬局 電話0852-55-6131
さくら薬局 電話0852-25-2325

厚生センター 電話0852-27-6073
児童養護施設双樹学院 電話0852-21-5794

市内の社会福祉法人は専門分野別に「高齢者」「障がい者」「子ども」に大別されます。しかし、利用者の貧困や孤立化等、生活・福祉ニーズは、各法人が担う支援領域の福祉制度だけでは対応が困難な状況になってきています。

そこで、今年4月から松江市内の社会福祉法人と連携薬局がその専門性を活かして「身近で」「信頼できる」相談窓口を各法人に設置し、縦割りでは対応が難しい地域社会の多様な福祉ニーズに対して相互の連携により、その相談に対して改善・解決を目指す取り組みです。当法人もこの取り組みに参画し相談窓口を設置しました。

相談は無料です。お気軽に、津田の里または最寄りの事業所、連携薬局までご相談下さい。

家族会アンケート

ご協力
ありがとうございました

コロナ禍、入居者様をはじめご家族には、面会制限等ご心配ご迷惑をおかけしている状況が続いています。現在、オンライン面会や電話、手紙で入居者様のご様子をお伝えしていますが、同様に家族会も開催できない状況です。

こうした状況下ですが、少しでもご家族様に安心を届けようと、ご意向を伺い、改善への取り組みとして今年度もアンケート調査を実施しました。

これまでにない高い回答率や文面から、入居者様に対するご家族様の思いが改めて伝わってきました。皆様から頂いたアンケートは、それぞれの部署で検討し共有しながらケアの改善向上につなげていきたいと思ひます。紙面を借りて、アンケート調査にご協力頂きましたこと厚くお礼申し上げます。

回答率 本館 87% 新館 93% ショート 40%

- Q.1...オンライン面会に関して
 - ・オンラインの方法が分からない
 - ・オンライン面会では意思疎通が図れない
- Q.2...手紙や電話での情報伝達について
 - ・様子がよく分かるとの回答を頂きました。特に、写真を添えてお送りしていることで一層の安心感につながっていることが分かりました
 - ・毎月の手紙を、楽しみに待っていることも分かりました
- Q.3...健康に関する情報伝達について
 - ・多くの方には、健康面についてもお伝えできていることが分かりました
 - ・ご意見の中に、数値だけでは、十分状態を把握することが出来ません、との回答を頂きました。より分かりやすい健康状態が届けられるよう検討します
- Q.4...サービス検討会(カンファレンス)、ケアプランについて
 - ・分かりやすい説明、分かりやすい内容です
 - ・専門的な言葉や内容で分かり難い
- Q.5...広報・ホームページについて
 - ・皆さんに、ご覧頂いていることが分かりました。
- Q.6...お気づきの点があればお聞かせください
 - ・高齢になった母は、看護師さんにお世話になることが多くなりました。直ぐに病院へ連れて行って頂いたり、ワクチンの時も相談して頂き感謝しています
 - ・心を込めて接して下さっているのが、母の顔を見るだけで伝わってきます。これからも、よろしくお願い致します



心温まる長寿祝賀会

～ご家族からのメッセージを添えて～



職員の手伝いで、入居者の皆さんは大喜びで楽しんでいました。



4年前に会った、トヨタの新しいまくどぶ車がプレゼントです。(笑)

長寿祝賀会を本館は九月二十一日、新館は二十二日に、それぞれ新館パブリックスペースで開催しました。今年もコロナ感染対策のため該当の入居者様とご家族、職員のみでの開催となりました。本館対象の方は白寿二名、米寿一名。新館対象者の方は米寿三名でした。

式典では、当法人の吉田理事長の祝辞、自治体並びに当法人からのお祝い品贈呈後、今年はお家族様から入居者様へのお祝いの手紙を披露させて頂きました。改めて、入居者様が歩んでこられた人生とご家族との関わりを知る機会となり、参加者一同が胸をうたれました。今後、心温まる思い出に残る長寿祝賀会を企画したいと考えています。

午後からは、職員による演芸（安来節や銭太鼓）で、入居者様は笑顔あふれる楽しいひと時を過ごされました。



ご家族様と一緒に記念撮影。ちょっと緊張されています(新館)



本館式典の様子

地域貢献事業



地域貢献活動の一環として六月二十四日、古志原小学校四年生児童百三名を対象に、松江市社会福祉協議会との協働で「車いす体験学習」を実施しました。同小学校では、この学習を通じて、人とのつながりから福祉・感謝を学ぶことを目的に取り組みされました。児童の皆さんは、車いす体験を通じて、お互いの立場や気持ちを理解する「福祉」の心を学ばれました。

お礼と、感想を頂きましたので紹介します。

福祉の心を育んで 車いす体験学習

古志原小学校



なかなか思うように進まないようです。

先日は、わたしたちの車いす体験のために、たくさんの方の事を教えていただき、ありがとうございます。ありがとうございました。

乗っている時は、とっても楽しかったけど、お話を聞いて、車いすはたった2cmのだんをこえるのがむずかしいし、一人の時は声をかけてたすけてあげたい、と思いました。

これからも、お元気で足のふ自由な人をささえてあげてください。わたしも、がんばります。

お問い合わせ

社会福祉法人 松豊会
特別養護老人ホーム 津田の里

TEL 28-1950
FAX 27-1950



編集後記
ようやく発行の運びとなりました。アンケート調査から、広報紙の発行を楽しみにして頂いていることが分かり、より親しんで頂ける紙面作りをしていきたいと考えています。

今年も、気がつけば二ヶ月足らずとなりました。今年の冬は、寒くなる予報が出ています。これから暖房の機会が増え、それに伴い火災も発生しやすくなります。

法人でも、毎月、様々な災害を想定し訓練を行っています。十月十二日、消防署立会での総合防災訓練を実施しました。皆さんのご家庭でも、今一度、災害時に備え避難経路の確認や消火器の使用方法、備蓄品の点検をされてみてはいかがでしょうか。

(須貝)